

全体	41
個別	10-01

平成30年度 [中 対 馬 振 興 部] 目標の成果

課 名	地 域 振 興 課
-----	-----------

区分	項 目	中対馬未来づくりアクションプラン 個別事業の実現化準備
1	【 内 容 】 「中対馬未来づくりアクションプラン」個別事業の整備スケジュールにおいて、短期に位置づけられたものから、それぞれ必要な調査、協議、説明会などを行い、実現化に繋がられるよう各事業を推進するとともに、事業についての部課内の共有を図ります。	
組織 目標	【 指 標 】 事業によって準備内容は異なりますが、平成31年度から少しでも多くの事業を実施できるように、平成30年度は地区の協議、各種申請手続関係等の調整を行います。	
2	地方創生推進交付金を活用し、3カ年で、キャンプ場再整備事業、古民家活用事業、フラワーロード整備事業、定置網体験事業、青海の花畑スポット整備事業の5事業に着手する計画を策定しました。 その中で、平成30年度は、キャンプ場再整備事業、古民家活用事業、青海の花畑スポット整備事業に着手しました。	
実績 (成果)	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ場再整備事業：2人用コテージ4棟建設に係る実施設計の準備 ・古民家活用事業：対馬スイーツ料理教室（5回分）の準備 ・青海の花畑スポット整備事業：地区説明会を4回開催 	
3	事業には多額の費用を要し、各事業を推進していくためには補助金の活用が前提となり、上記8つの事業全てを実施することは出来ませんでした。が、実施できていない事業についても、関係部署や関係者との協議、補助金の検討や現地測量などのアクションは起こすことが出来ました。	
評価	○ また、準備が整った3つの事業については、地区説明会を開催し、事業の推進について承認を得る等、どの事業についても関係者、関係部署との連絡調整を密に行い、現時点では順調に進んでいます。	
4	まずは、地方創生推進交付金の申請内容に従い、3カ年の計画を予定通り実施できるよう努めていくとともに、現時点で補助金等の活用の目途が立っていないため、保留となっている事業について再検討します。	
今後の 展開	また、5つの事業以外で中対馬未来づくりアクションプランに記載している事業についても再度検討し、着実に推進していきます。	